吸　収　合　併　に　か　か　る
事　前　開　示　書　面

株式会社ユーグレナ

2024 年 5 月 27 日

吸収合併にかかる事前開示書面

2024年5月27日

株式会社ユーグレナ
東京都港区芝五丁目29番11号
代表取締役　　出雲　充

当社は、2024年4月8日付で当社と株式会社ＬＩＧＵＮＡ（以下「LIGUNA」といいます。）との間で締結した吸収合併契約書に基づき、2024年7月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、LIGUNA を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うこととしました。

本合併に関する事項は、以下のとおりです。

１．吸収合併契約の内容（会社法第794条第1項）

2024年4月8日付で当社とLIGUNAとの間で締結した吸収合併契約書は、別紙1のとおりです。

２．会社法第749条第１項第2号および第3号に掲げる事項についての定めの相当性に関する事項（会社法施行規則第191条第1号）

LIGUNAは当社の完全子会社であることから、当社は本合併に際して株式その他の資産の割当ては行わず、また、本合併により当社の資金および準備金は増加しません。

３．会社法第749条第１項第4号および第5号に掲げる事項についての定めの相当性に関する事項（会社法施行規則第191条第2号）

該当事項はありません。

４．吸収合併消滅会社に関する事項（会社法施行規則第191条第3号）

（１）最終事業年度に係る計算書類等の内容

LIGUNAの最終事業年度に係る計算書類等は別紙2のとおりです。

（２）最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等

該当事項はありません。

（３）最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

５．吸収合併存続会社において最終事業年度の末日後に生じた、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容（会社法施行規則第 191 条第 5 号）

当社は、2024 年 3 月 13 日付の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社はこ（以下「はこ社」といいます。）に関して、当社が保有する同社の全株式をはこ社の代表取締役である亀谷誠一郎氏に譲渡すること（以下「本株式譲渡」といいます。）を決議いたしました。

当社は、はこ社の買収時にのれんおよび顧客関連資産を計上しておりましたが、本株式譲渡の実行に伴い、2024 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間において、のれんおよび顧客関連資産の減損損失として最大 809 百万円の特別損失を計上する予定です。また、顧客関連資産の減損処理に伴い、繰延税金負債を取り崩し、最大 154 百万円の法人税等調整額（益）を計上する予定です。本株式譲渡に伴い 2024 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間において計上する純損失額は、のれんおよび顧客関連資産の減損損失から繰延税金負債取り崩しによる法人税等調整額を差し引いた最大 655 百万円となる予定です。

なお、当社は、はこ社の 2024 年 12 月期通期業績を、売上高 27 億円程度、調整後 EBITDA85 百万円程度と見込んでおり、現時点では 2024 年 12 月期の連結業績予想の修正は予定しておりません。

６．吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 191 条第 6 号）

本合併の効力発生日後の当社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併の効力発生日以後の当社の収益状況およびキャッシュフローの状況について、当社の債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は、現在のところ予測されておりません。したがって、本合併の効力発生日後における当社の債務については、履行の見込みがあるものと判断いたします。

７．本書面の備置開始日後本合併が効力を生ずる日までの間に前各項に掲げる事項に変更が生じたときは、変更後の当該事項（会社法施行規則第 191 条第 7 号）

該当事項はありません。

別紙１

吸　収　合　併　契　約

株式会社ユーグレナ（以下「EUG」という。）および株式会社ＬＩＧＵＮＡ（以下「LIGUNA」という。）は、2024年４月８日付で、以下のとおり吸収合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第１条（本合併の効力発生日）

EUGおよびLIGUNAは、EUGを吸収合併存続会社、LIGUNAを吸収合併消滅会社として、効力発生日を2024年７月１日（以下「効力発生日」という。）とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行うことに合意する。

第２条（本合併を行う会社の商号及び住所）

本合併にかかる吸収合併存続会社と吸収合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりとする。

	商号	住所
吸収合併存続会社	株式会社ユーグレナ	東京都港区芝五丁目２９番１１号
吸収合併消滅会社	株式会社ＬＩＧＵＮＡ	東京都小金井市梶野町五丁目８番２６号

第３条（本合併の対価）

EUGは、本合併にあたり、LIGUNAの株主に対して、その有する株式に代わる金銭等を交付しない。

第４条（効力発生日の変更）

EUGおよびLIGUNAは、合併手続進行上の必要性その他の事由により必要な場合には、協議の上合意により効力発生日を変更することができる。

（以下余白）

以上、本契約締結の証として本書２通を作成し、EUG およびLIGUNA がそれぞれ記名押印の上、各１通を保有する。ただし、EUG およびLIGUNA が合意した場合、本契約を書面によらず電磁的方法により締結することとし、その証として、EUG およびLIGUNA との間で署名捺印に代わる電磁的処理を施した電磁的記録を作成の上、各自保管する。

2024年4月8日

EUG：　株式会社ユーグレナ
東京都港区芝五丁目29番11号
代表取締役　出雲　充

2024年4月8日

LIGUNA：　株式会社ＬＩＧＵＮＡ
東京都小金井市梶野町五丁目８番26号
代表取締役　　福本　拓元

別紙２

決算報告書

（第 22 期）

自 2023年　1月　1日
至 2023年 12月 31日

株式会社LIGUNA

東京都小金井市梶野町5-8-26

貸　借　対　照　表

2023年 12月 31日　　（当期会計期間末）

株式会社LIGUNA

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
【流動資産】		【流動負債】	
現金	833,199	買掛金	30,966,533
普通預金	746,486,594	1年以内返済長期借入金	37,308,000
売掛金	127,663,855	未払金	233,034,431
商品	154,542,722	未払法人税等	42,243,000
材料	68,165,252	未払消費税	33,091,700
貯蔵品	2,970,379	預り金	1,515,487
前渡金	3,392,125	賞与引当金	2,949,602
前払費用	1,754,000	設備未払金	957,000
未収入金	1,071,002	契約負債	306,996,900
未収還付法人税等	26,267,800	流動負債合計	689,062,653
流動資産合計	1,133,146,928	【固定負債】	
【固定資産】		長期借入金	531,429,000
（有形固定資産）		資産除去債務	38,150,000
建物	425,380,816	固定負債合計	569,579,000
建物付属設備	170,258,486	負債合計	1,258,641,653
構築物	20,719,404		
機械及び装置	271,260		
工具、器具及び備品	13,863,821	純資産の部	
建物付属設備_資産除去債務	38,150,000	科　　目	金　　額
土地	330,670,837	【株主資本】	
減価償却累計額	△254,137,552	資本金	3,000,000
有形固定資産合計	745,177,072	【利益剰余金】	
（投資その他の資産）		利益準備金	750,000
出資金	100,000	（その他利益剰余金）	（797,428,157）
長期前払費用	377,101	繰越利益剰余金	797,428,157
繰延税金資産	173,387,309	利益剰余金合計	798,178,157
差入保証金	2,520,000	株主資本合計	801,178,157
敷金	5,111,400		
投資その他の資産合計	181,495,810		
固定資産合計	926,672,882	純資産合計	801,178,157
資産合計	2,059,819,810	負債純資産合計	2,059,819,810

損　益　計　算　書

自 2023年　1月　1日　至 2023年 12月 31日　　（当期累計期間）

株式会社LIGUNA

（単位：円）

科　　目	金　　額	
【売上高】		
売上高	2,116,069,361	
はだめし売上	15,593,613	
売上高合計		2,131,662,974
【売上原価】		
期首商品及び製品棚卸高	273,268,794	
仕入高	302,632,842	
はだめし仕入高	6,601,736	
期末商品及び製品棚卸高	222,707,974	359,795,398
売上総利益		1,771,867,576
【販売費及び一般管理費】		1,328,231,925
営業利益		443,635,651
【営業外収益】		
受取利息	21,497	
受取配当金	2,000	
雑収入	6,096,086	
営業外収益合計		6,119,583
【営業外費用】		
支払利息	6,304,278	
為替差損	108,681	
営業外費用合計		6,412,959
経常利益		443,342,275
特別利益合計		0
【特別損失】		
固定資産売却損	2,526,974	
特別損失合計		2,526,974
税引前当期純利益		440,815,301
法人税、住民税及び事業税	114,870,246	
法人税等調整額	△85,171,180	
法人税等合計		29,699,066
当期純利益		411,116,235

販売費及び一般管理費明細書

自 2023年 1月 1日 至 2023年 12月 31日 （当期累計期間）

株式会社LIGUNA

（単位：円）

科　　目	金　　額	
荷造運賃	214,594,070	
広告宣伝費	613,248,891	
販売手数料	86,607,970	
交際費	258,335	
貸倒損失	118,569	
給料手当	158,203,895	
賞与	28,780,500	
賞与引当金繰入額	318,360	
法定福利費	29,113,214	
福利厚生費	1,664,737	
通勤費	2,270,367	
旅費交通費	1,747,062	
通信費	5,885,888	
消耗品費	1,881,107	
事務用品費	2,046,520	
水道光熱費	5,313,138	
保険料	4,518,818	
修繕費	351,100	
支払報酬	4,255,800	
新聞図書費	39,950	
教育研修費	374,549	
地代家賃	17,256,927	
管理費	1,520,550	
支払手数料	10,807,101	
諸会費	1,079,500	
寄付金	6,048,664	
会議費	11,787	
租税公課	4,230,051	
減価償却費	15,996,549	
減価償却費_資産除去債務	7,629,996	
研究開発費	1,506,203	
システム費	24,398,272	
業務委託費	72,889,799	
支払リース料	1,793,328	
長期前払費用償却	754,196	
雑費	716,162	
販売費及び一般管理費合計		1,328,231,925

出力者情報:yamanashi[EUG-23035] 2024/03/05 14:18:31

株主資本等変動計算書

自 2023年 1月 1日 至 2023年 12月 31日　　（当期累計期間）

株式会社LIGUNA

（単位：円）

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
			繰越利益剰余金			
当期首残高	3,000,000	0	871,783,625	871,783,625	874,783,625	874,783,625
当期変動額						
剰余金（その他利益剰余金）の配当		750,000	△510,750,000	△510,000,000	△510,000,000	△510,000,000
過年度税効果調整額			25,278,297	25,278,297	25,278,297	25,278,297
当期純利益			411,116,235	411,116,235	411,116,235	411,116,235
当期変動額合計	0	750,000	△74,355,468	△73,605,468	△73,605,468	△73,605,468
当期末残高	3,000,000	750,000	797,428,157	798,178,157	801,178,157	801,178,157

個　別　注　記　表

自 2023年　1月　1日　至 2023年 12月 31日　　（当期累計期間）

株式会社LIGUNA

１．重要な会計方針に係る事項に関する注記

（１）棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品、材料、貯蔵品
最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

（２）固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産
定率法（ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に建物付属設備及び構築物については定額法）

②長期前払費用
期間均等償却しています。

（３）引当金の計上基準

賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

（４）その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

２．株主資本等変動計算書に関する注記

（１）当該事業年度の末日における発行済株式の数　6,000株

（２）当該事業年度の末日における自己株式の数　0株

（３）当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

令和5年9月29日の定時株主総会において、次の通り決議されました。

配当金の総額	510,000,000円
配当の原資	利益剰余金
一株当たりの配当額	85,000円
基準日	令和4年12月31日
効力発生日	令和5年10月 2日

株式会社 LIGUNA 第 22 期事業報告書

（令和 5 年 1 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日）

1　会社の状況に関する重要な事項

1-1 主要な事業内容

事業区分	事業内容
化粧品製造販売事業	オリジナル化粧品ブランド akyrise の製造、販売
飲食事業	自社オフィスの 1 階で「からだの中からきれいになる美養食」を提供する「はだめし」を運営

1-2 事業の経過及びその成果

売上高　2,131,662 千円（税別）

売上総利益　1,771,867 千円

営業利益　443,635 千円

経常利益　443,342 千円

当初計画通り前期と比較して広告宣伝費を抑制し利益創出を図った。年間を通じて、新規獲得は拡大ではなく、これまで行ってこなかったことへチャレンジを行った。その結果、これまでのサンプルサイズ「お試し詰合せ」のみの広告から脱却し、1 か月サイズ本品や初回からの定期購入など初回購入単価が高く、かつ、CPA/CPO も改善することができた。来期はこの成果を拡大させていき、定期購入者数増を目指していく。

1-3 対処すべき課題

24 年 1 月をもって株式会社 mima を通じた創業者南沢氏との業務委託契約が解除されることにともない、広告クリエイティブでの肖像の使用ができなくなり、クリエイティブの作り変えが必要となる。この影響により、新規獲得効率が悪化し、広告費の拡大ができないことで事業成長が停滞する可能性が見込まれる。早急にヒットクリエイティブを生み出すべく脱創業者クリエイティブの制作を実施している。

監　査　報　告　書

私は、令和５年１月１日から令和５年 12 月 31 日までの事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、令和５年１月１日以降取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

２．監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

②　取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類の監査結果

①　計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和６年３月 28 日

株式会社ＬＩＧＵＮＡ

監査役　須佐　大介　印